

大野 岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年7月19日発行 文責 校長 中尾 聡彦

躍動・感動・感謝の伊西地区中学校夏季総合体育大会(中体連)

6月29日(土)、30日(日)、7月6日(土)に中体連が開催されました。

この大会に向けて、生徒たちは日々練習に励んできました。その営みはまさに青春そのものです。時々、練習を見学に行きましたが、それぞれの部がそれぞれの目標をもち、また、一人一人がそれぞれの課題をもって練習している姿が輝いて見えました。その成果が、各部の試合の中で見られたことと思います。

私は、ソフトテニス競技の会場責任者であったために、その場を離れることができませんでした。本校生徒の生き生きとした姿に感動しました。試合を重ねるごとに、少しずつ声を出すことができるようになっていきました。そして、緊張している自分たちを鼓舞しながら相手に立ち向かっていく姿に感動しました。

生徒が大会でベストのパフォーマンスを発揮することができるのは、生徒一人一人の努力もありますが、これまで生徒を支えていただいた保護者の方々の努力もあったことと思います。雨の中、暑い中に応援いただきありがとうございました。生徒には、そのことへの感謝の気持ちをずっと大切にしたいと思っています。

また、生徒同士の感動的な出来事も紹介したいと思います。大会1週間ほど前から、一人の女子が日替わりで各部を回りながら練習をサポートしていました。話しかけてみると、同じクラスの仲間の最後の大会を前に、何かサポートすることができればと考えたそうです。大会当日も、各試合会場を回って応援していました。仲間への純粋な気持ちにふれ、あたたかい気持ちになりました。

一方、今年は昨年度と違った練習風景も見られました。それは、前期課程の教員が練習をサポートしていたことです。顧問(後期課程の教員)が前日準備や出張で不在の時は、前期課程の教員が練習に立ち会っていました。子どもたちの育ちを、一つの学校として支えていくという本校のよさがこういう場面で見ることができたことは嬉しいことでした。また、大会当日も多くの本校教員が応援に駆けつけてくれました。

大会の結果は以下のとおりです。選手の皆さん、保護者の皆さん、お疲れ様でした。そしてかわっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

- 軟式野球競技(啓成中学校との合同チーム) VS東陵中学校 惜敗(第3位)
- バレーボール 予選リーグ突破 決勝トーナメント(VS青嶺中学校)惜敗(ベスト6)
- ソフトテニス 個人戦 梅村・中島ペア(ベスト8)
- 卓球 個人戦 加川(ベスト16)
- 陸上 2年女子800m 原田(決勝第8位)

1学期をふりかえって

明日から長い夏休みに入ります。終業式では1学期の印象的な出来事をふりかえり、夏季休業中の心構えを話しました。

今日で1学期が終わります。振り返ってみて、どんなことが思い出されますか？

「わたしたちの郷学館は、わたしたちが創る」を合言葉にいろいろなことに取り組んでくれた1学期だったと思います。

1学期を振り返って印象的だった出来事を2つ紹介します。

1つ目は、「友笑輝（ゆうしょうき）～輝くヒーロー達へ～というスローガンの下、5月19日（日）に体育大会が行われました。このスローガンには、自分たちの力で、友だちと笑い合い、一人一人が輝くヒーローになることができる体育大会を創り上げようという思いが込められていました。練習期間中には、9年生ばかりではなく各ステージのリーダー学年（4年生、7年生、9年生）がそれぞれの役割を果たしてくれました。どの学年においても「真面目に一生懸命に取り組む姿」は共通しており、この点は、南波多郷学館の素晴らしい伝統の一つだと思いました。これからも大事にして欲しいと思います。

2つ目は、8日に行われた平和集会です。児童生徒会長や副会長の話では、平和について考える中で自分たちの生活を振り返った内容がありました。平和であるから好きなバレーボールに、好きな仲間と打ち込むことができること。世界では、今この時にも「いのち」を脅かされている人がいて、平和であることは普通のことではないこと。平和である日常に感謝しなければならないこと。そして、各学年で一生懸命に考えた平和宣言には感心しました。平和であることは普通のことではない。平和な毎日を大切にしていくなかぎは、わたしたち一人ひとりの心の中にあるのではないかと思います。人を傷つけない心、逆に傷ついた人の心の内に思いを馳せ、寄り添い、支えていこうとする心が平和を築いていくことの第一歩だと思います。

さて、明日から長い夏休みに入ります。何か取り組みたいことがあるでしょうか？何か達成したい夢や目標があるでしょうか？

1つでいいので「自分の力でやり遂げた！」ということがあるといいと思います。

例えば、「家の人に頼らずに、自分の力で決まった時間に起きる」でもいいと思います。また、「だれにも頼らずに、自分が決めた時間に勉強する」「だれにも頼らずに、本を〇〇冊読む」「毎日、絵を描き続ける」等々、それは人それぞれでいいと思います。

よく「やるか、やらないかはあなた次第！」という言葉聞きますが、何かあいまいな気がしませんか？この言葉を、「やるか、あきらめるか」と置き換えたらどうでしょうか。何か1つを、あきらめることなく、粘り強く続ける努力をして欲しいと思います。

何の努力もしないで夢や目標を達成できるはずがありません。夢や目標を達成するのは親でもなくあなた自身です。夢や目標を達成するための近道はないと思います。あえて、あきらめることなく、地道に努力をするという遠回りが必要なのかもしれません。あなた自身の努力なくして、夢や目標を達成はありません。

この夏休みは、少し自分に厳しく自分であってほしいと思います。そのことが、自由な中で充実した時間を過ごすことにつながると思います。

2学期の始業式で、こんなことに取り組んだ、こんなことを達成したという話を聞くことができるのを楽しみにしています。